

トラック輸送情報（平成21年7月分）

平成21年10月29日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

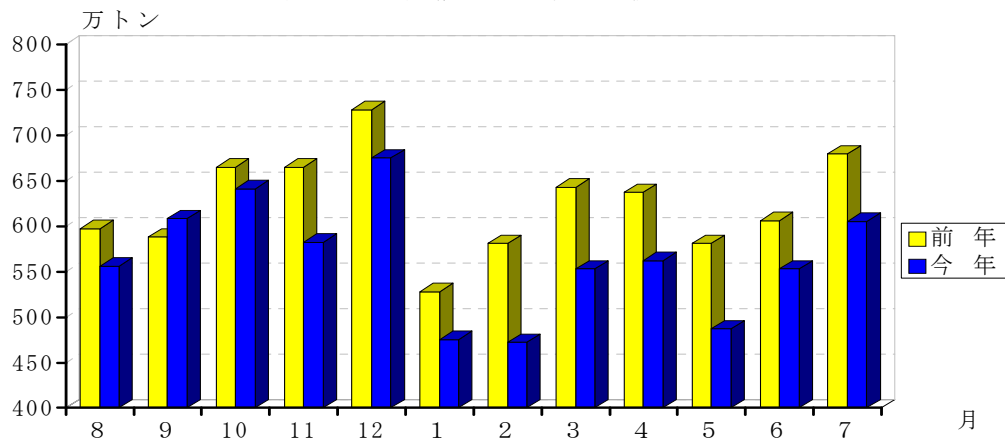
調査対象27社の本月の輸送量は、6,046,458トンで、前月と比べ総輸送量が約52万トン増加したため、前月比109.4%（季節調整済み101.7%）となり、前年同月との比較では、約75万トン減少したため、前年同月比89.0%の実績であった。

なお、平均稼働日数は25.4日で、前月と同日数で、前年同月と比べ0.1日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、238,050トンで、前月と比べ約2万トン増加したため、前月比109.4%となり、前年同月との比較では、約3万トン減少したため、前年同月比88.6%の実績であった。

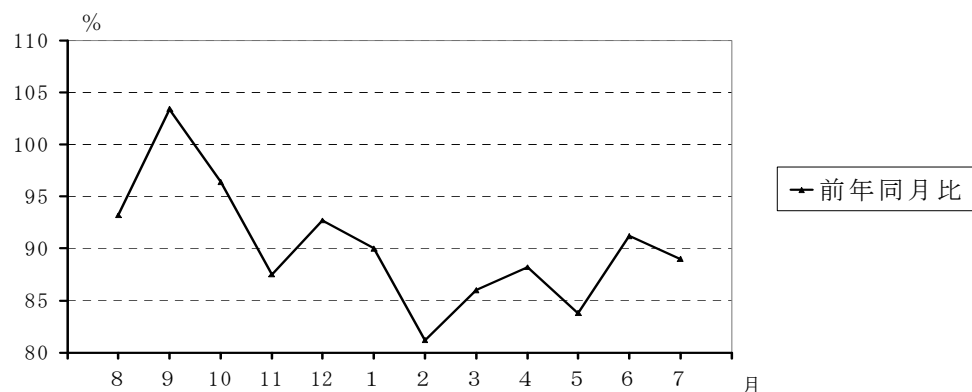
（図1-1、図1-2参照）

注）平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比



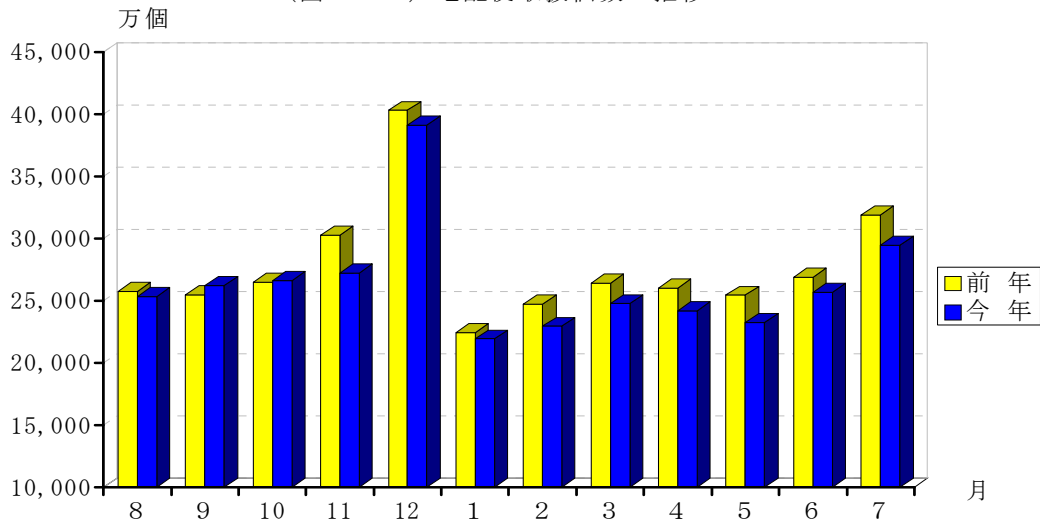
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、294,382 千個で、前月と比べ 約 3,787 万個増加したため、前月比 114.8% (季節調整済み 98.6%) となり、前年同月との比較では、約 2,429 万個減少したため、前年同月比 92.4%の実績であった。

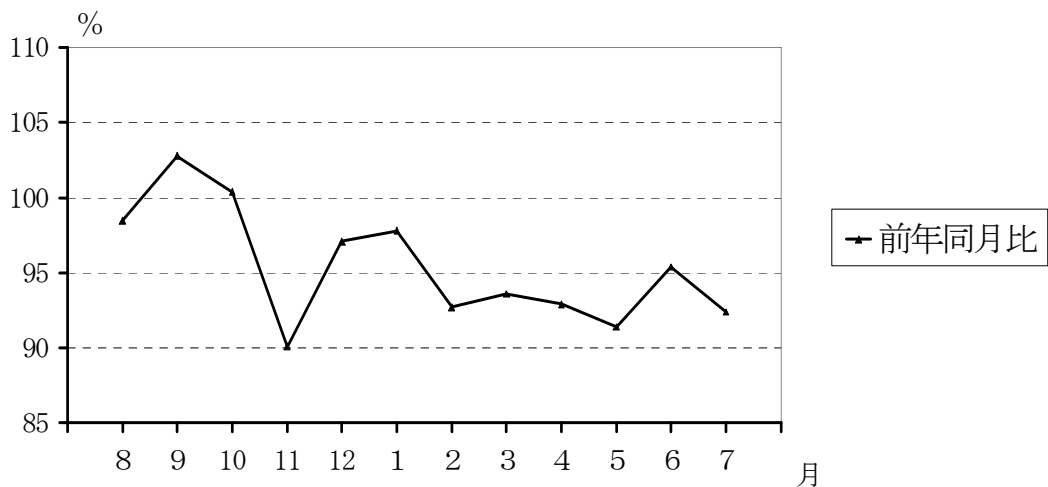
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 21 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、19 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、平均稼働日数は横ばいであるものの、すべての品目で輸送量の増加がみられた。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増がいくつかの品目に共通してみられたほか、「繊維工業品」、「食料工業品」、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」では、季節的需要増も要因となっている。地域的には、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」が全国的に増加したほか、「化学工業品」、「繊維工業品」が関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国で、「金属製品」が関東、大阪で、「食料工業品」が関東地方で増加している。

前年同月と比べると、不況に伴う工場・生産地からの貨物減等により、すべての品目で輸送量が減少している。地域的には、「金属製品」、「機械」が東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国で、「食料工業品」が東北、関東地方、北陸信越、大阪、近畿で、「日用品」、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」が全国的に減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因
	著増	増	変らず	減	著減			
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	3	10	1	1	青果物	4
	金属製品		7	12	2		その他の金属製品	関東、大阪
	機械		10	11			電気機械、機械部品	関東地方、北陸信越、愛知、大阪、近畿、中国
	化学工業品		7	13	2		合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国
	繊維工業品		6	15	1		糸、織物	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国
	食料工業品		6	11	2	1	飲料、加工食品	関東地方
	日用品	1	7	12	2		書籍・印刷物、文具、その他の日用品	東北、関東、北陸信越、近畿
	その他	3	8	9	1		宅配便、百貨店配送品	関東地方、大阪、中国、全国
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1		13	4		青果物	4
	金属製品	1	1	9	8	2	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国
	機械	1	1	5	11	3	電気機械、その他の機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国
	化学工業品			10	11	1	合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国
	繊維工業品		1	13	7	1	糸、織物	関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国
	食料工業品		3	9	8		飲料、その他の食料工業品	東北、関東地方、北陸信越、大阪、近畿
	日用品		1	8	11	2	書籍・印刷物、文具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国、全国
	その他		3	6	9	2	宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、全国

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 793 社／調査対象事業者数 1,087 社）の輸送量は、前月比 105.1%、前年同月比 90.1%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	105.1%	110.9%	103.4%	104.9%	104.1%	98.5%	101.4%	109.0%	101.6%	104.1%	95.4%
前年同月比	90.1%	94.7%	91.2%	91.3%	87.7%	79.9%	88.8%	87.3%	90.1%	93.8%	90.2%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 110.9%、対前年同月比 94.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」等の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「金属製品」、「セメント」の輸送量が大幅に増加している。一方、天候の影響等により「水産品」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「動植物性飼・肥料」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 103.4%、対前年同月比 91.2%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「食料工業品」の輸送量が増加したほか、景気回復の兆し等により「砂利・砂・石材」、「日用品」等の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「工業用非金属鉱物」の輸送量が減少したほか、商社・問屋からの貨物減等により「食料工業品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 104.9%、対前年同月比は 91.3%であった。品目別には、景気回復の兆しにより「その他の石油製品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「鉄鋼」、「金属製品」、「機械」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 104.1%、対前年同月比は 87.7%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「セメント」等の輸送量が増加した。一方、商社・問屋からの貨物減等により「水産品」、「機械」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「化学肥料」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 98.5%、対前年同月比は 79.9%であった。品目別には、季節的需要増により「その他の農産品」等の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「機械」等の輸送量が増加している。一方、商社・問屋からの貨物減等により「金属鉱」、「取り合せ品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 101.4%、対前年同月比は 88.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「機械」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 109.0%、対前年同月比は 87.3%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「その他の化学工業品」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「野菜・果物」等の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「機械」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 101.6%、対前年同月比は 90.1%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「その他の石油製品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 104.1%、対前年同月比は 93.8%であった。品目別には、天候の影響により「穀物」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「野菜・果物」等の輸送量が増加している。一方、建設関連の需要減により「砂利・砂・石材」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「セメント」、「紙・パルプ」、「食料工業品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 95.4%、対前年同月比は 90.2%であった。品目別には、建設関連の需要増により「金属製品」の輸送量が増加したほか、季節的需要増により「取り合せ品」の輸送量が増加している。一方、季節的需要減により「穀物」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局										
		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増	2	1							3		6
	減				1						1	2
2. 野菜・果物	増	2	5	1	3		1	2	1	6		21
	減		2		1	1		4		3		11
3. その他の農産品	増	2				2		1				5
	減							1		3		4
4. 畜産品	増							1		1		2
	減										1	1
5. 水産品	増									1		1
	減	3			2					1	1	7
6. 木材	増	1	3		2	1			1		1	9
	減	3			1			2	1	1		8
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	2	2							1		5
	減	1										1
9. 金属鉱物	増				1					1		2
	減					1						1
10. 砂利・砂・石材	増	12	2		1	1		1		2		19
	減	4					1	2		2		9
11. 工業用非金属鉱物	増						1	1		1		3
	減	1	2						1			4
12. 鉄鋼	増						1	5	1			7
	減	1	1	1	1		1	2		3		10
13. 非鉄金属	増				1							1
	減											
14. 金属製品	増	3	2		1	1	2	2		1	1	13
	減	1	1	1			2			3	1	9
15. 機械	増	1	1		1	4		1			1	9
	減			1	4	2	2	5		3		17
16. セメント	増	6			3	1		1		1		12
	減		1					1		5		7
17. その他の窯業品	増		1				1	1				3
	減		1					2				3

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
18. 揮発油	増				1					1		2
	減	2										2
19. その他の石油製品	増	1		2								3
	減	1		1	1			1	1	2		7
20. コークス・ その他の石炭製品	増							1				1
	減											
21. 化学薬品	増	1	1				1	1		1		5
	減	1					1	3				5
22. 化学肥料	増	1						1				2
	減	2	1		3			1		1		8
23. その他の化学工業品	増				1		1	4		1		7
	減							1		1		2
24. 紙・パルプ	増			1	1		1	2	1	1		7
	減	1			1	1	1	3		4		11
25. 繊維工業品	増								1			1
	減				1	1		1				3
26. 食料工業品	増	2	6		1		5	5	1	4		24
	減		3		2		1	2	1	5		14
27. 日用品	増	2	3		1		2	2		2		12
	減	2	1					3		3		9
28. その他の製造工業品	増			2	1		1	1		1		6
	減				2	1		3	1	3		10
29. 金属くず	増									1		1
	減									1		1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	2	1							1		4
	減	4		2				1				7
32. 廃棄物	増					1	1	2				4
	減		1					2	1	1		5
33. 輸送用容器	増		1		1			1	1			4
	減											
34. 取り合せ品	増	1		1			1	1		1	1	6
	減	1	1			1						3
35. その他	増		2	4	4	2	2	5		1		20
	減		1	1		2	1					5